

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大阪府八尾警察署新築工事	階数	地上6F
建設地	大阪府八尾市荘内	構造	SRC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、第二種住居地域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年2月 予定	評価の実施日	2023年3月7日
敷地面積	3,792 m ²	作成者	佐者靖裕
建築面積	2,101 m ²	確認日	2023年3月9日
延床面積	7,561 m ²	確認者	浪江明弘

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 83% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 83%

④上記+ 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	・府民センターとの一体化を図り、総合的に利用できる施設としている。	その他 ・特になし
Q1 室内環境	・遮音対策を高める。 ・断熱性能の向上を図る。	Q3 室外環境(敷地内) ・建築設備(空調設備)は屋上に設置し、排熱の放出に配慮する。
LR1 エネルギー	・空調・換気設備機器は効率の高いシステムの採用。 ・照明器具はLEDや高効率の蛍光灯を採用。	LR3 敷地外環境 ・空調・換気設備の騒音、振動の抑制を図る。
Q2 サービス性能	・配管材の長寿命化を図る。	
LR2 資源・マテリアル	・主要水栓や衛生機器は節水機器を採用。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0172

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	大阪府八尾警察署新築工事					
	建設地	大阪府八尾市荘内					
	用途/区分	事務所 工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					3	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.6	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.9	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.2	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	5.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入	太陽光発電システム	再生可能エネルギーを活用し環境負荷を低く抑えるよう寄与している
特に配慮した事項		